



発行 兵庫区青少年記者クラブ

〒652-0032
 神戸市兵庫区荒田町2-18-20 湊川プラザ2F
 ユーステーション兵庫内
 青少年記者クラブ事務局
 ☎078・381・5584

主催 兵庫区役所
 協賛 兵庫地区青少年育成協議会
 企画・運営 NPO法人こへユースネット
 編集・製作協力 神戸新聞社
 印刷 神戸新聞総合印刷

「HyogoPepper」は、公募により集まった高校生記者8名からなる兵庫区青少年記者クラブが、兵庫区のまちを中心に取材、作成した新聞です。

守り続けよう 兵庫運河



物 流の要衝として日本の近代化を支えた兵庫運河。神戸港と須磨、駒ヶ林方面との安全な航行のために1899年に完成した歴史的遺産だ。この貴重な地域の資産を守るため、さまざまな活動が行われている。

近代化遺産、生き物の宝庫に

数十年前はヘドロが堆積し、メタンガスが発生するなど、水質汚染が進んでいた。だが、兵庫区の人々と兵庫運河の周辺企業が水質向上や周辺美化を目的とした努力を続けた結果、現在は運河の底が見通せるほど透明度があがり、スズキ、アサリ、イソガイなどの多様な生物が生息している。

また、兵庫運河では数十年前の水質汚染に悩まされ

ていた時には考えられないようなイベントが企画、開催されている。例えば、NPOキャナルレガッタ神戸が主催している「夏休み ボート体験」もその一つ。小学校1年生以上から参加でき、競技用ボートを日本一大きい運河である兵庫運河で漕げるのが目玉だ。

兵庫運河周辺では、「兵庫運河を核に、水と緑にあふれ、人が集い、歴史の息づくまちづくりを目指すこと」をコンセプトにさまざまな取り組みが行われている。その一部にプロムナードの改修や整備、真珠貝プロジェクトなどがあ



る。これらの取り組みによって兵庫運河周辺地域はより活性化すると考えられる。

美しい兵庫運河に住む生物、集う人々。「地域の財産」は地域の人々の運河に対する熱意によって守られている。この思いを数十年後に地域を担っていく若い世代が受け継ぎ活動を継続していくことが大事だ。

記事 榎本 大矩
 佐藤 紅音
 堀 凌也
 写真 佐藤 紅音

